

クイックガイド

改訂版①

燃料 無鉛レギュラーガソリン



安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に
本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。

詳細は
WEB取説を
ご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。



安全上の注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告 この表示の欄は「死亡または重症を負う恐れがある」内容です。



注意 この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

!警告（製品に係る安全事項）



禁止

本機は、除雪をする機械です。指定された用途以外には使用しないでください。

燃料の臭いがする場合、運転をしないでください。爆発の危険があります。

エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。換気の悪い場所や屋内でエンジンを始動しないでください。

エンジンが熱いうちは、給油しないでください。

燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。

運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。

改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。



強制

周囲の動植物等に排気ガスがかからないように注意をしてください。

給油時は、付近にタバコ等の火気が無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。

給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れことがあります。

給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。

給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災を防ぐため適切に処分してください。

燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。

始動前点検を実施してください。

⚠警告 (製品に係る安全事項)

禁止	<p>正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。</p> <p>未成年者の単独使用は禁止です。保護者等の監督下で作業してください。</p> <p>成年者でも、操作の仕方がよく分からぬ場合は、独自の使用をしないでください。</p> <p>運転中は回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。</p> <p>運転中は絶対シュータやオーガハウジングを覗き込まないでください。</p> <p>点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。</p> <p>デッドマンクラッチ（走行クラッチ）を紐などで固定しないでください。</p>	 強制	本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。	
			可動部分の位置及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。	
			運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。	
			エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。	
			クラッチレバーを握っていない時は、オーガが回転していることを確認してください。	
			エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるときやけどをすることがありますので注意してください。	
			使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。	
回転しているオーガに接触すると負傷または死亡する恐れがあります。		点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。		
点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっていますので、やけどの恐れがあります。		破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。		
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故・怪我の原因になることがあります。		自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じてください。振動等により燃料が漏れることができます。		
長期間使用しない場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。		子供の手の届かない安全な場所に保管してください。		
ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよく理解したうえでご使用ください。				

⚠ 注意 (製品に係る安全事項)

禁止	古い燃料は使用しないでください。	強制	燃料は無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
			定期的にエンジンオイルを交換してください。
	安全保護装置であるガード及びカバーを取り外して運転をしないでください。	強制	給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
			使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
	シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。	強制	シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。
			部品交換は、純正部品を使用してください。
			定期点検整備を行ってください。

⚠ 警告 (作業に係る安全事項)

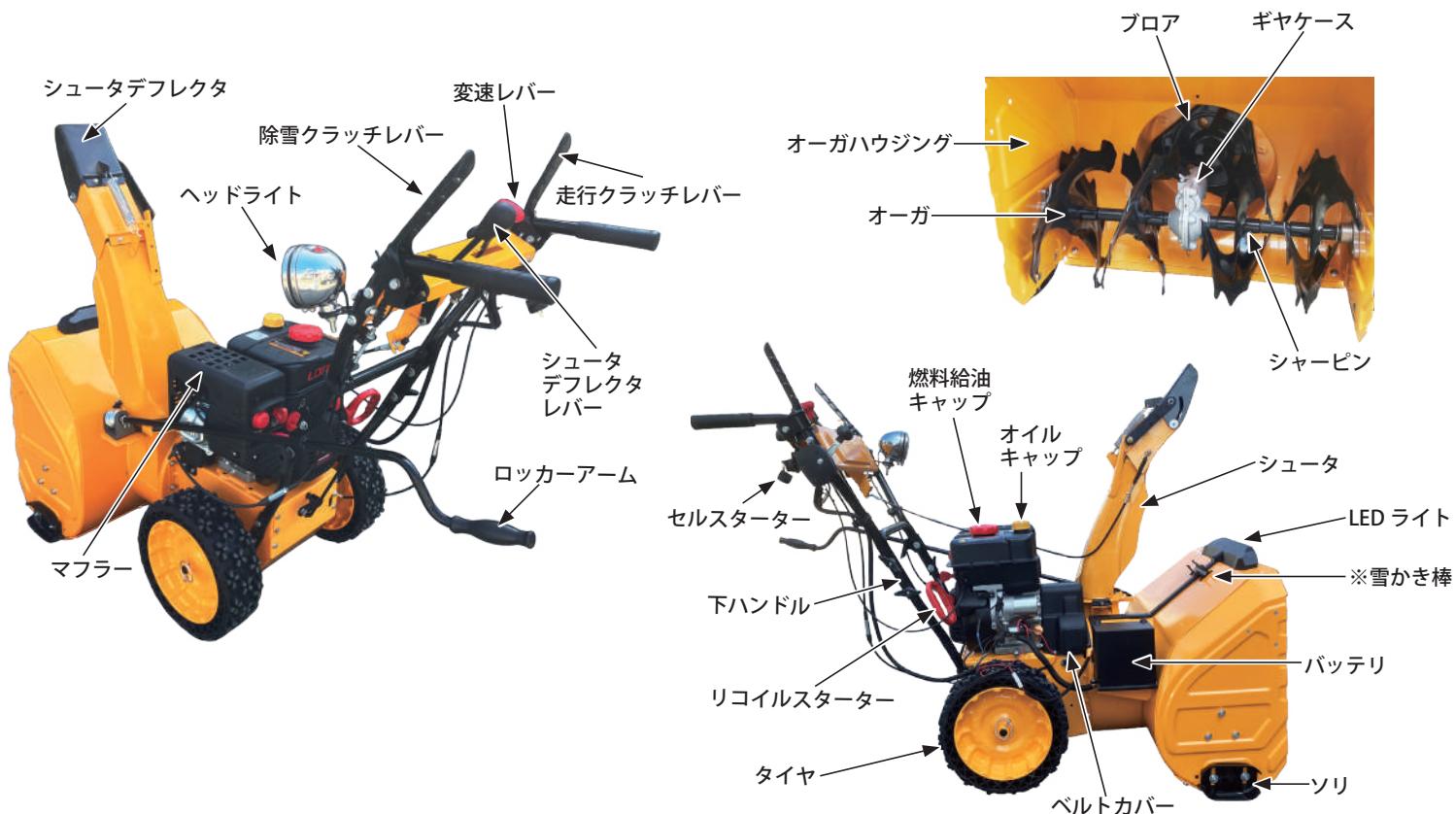
禁止	身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。	強制	雪が降る前に運転区域内の木片、缶、ホース、線材、ロープ及びその他の異物等をすべて除去してください。
	夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないうときは使用しないでください。		ハンドルをしっかりと握り、正しい姿勢で作業をしてください。
	運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。		運転中は、排気ガスに十分注意してください。
	ご使用時は、使用者から15m以内は危険です。人やペットが近づかないようにしてください。		建物、自動車及び破損の恐れがある建造物の周囲で除雪をするときは、それらの方向に排出された雪が当たらないようシュータの方向、シュータデフレクタの角度を調整して運転をしてください。
	運転区域には、全ての人、幼児、子供、ペット等を入れないでください。		停止中でも、オーガに触れないでください。怪我をする恐れがあります。
	人にシュータやシュータデフレクタを向けないでください。また、除雪機の前方に人を入れないでください。		適切な間隔で休憩をとってください。
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。
	砂利道は石が飛び出すなど危険です。除雪しないでください。		本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
	雪の中に石が混入していると遠くまで飛ぶ事があるので十分注意してください。		移動する時は、オーガの回転を止めてください。
	オーガやシュータに顔や手足、衣服などを近づけないでください。		危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。

⚠警告（作業に係る安全事項）

禁止	傾斜面を横切って除雪しないでください。	強制	除雪部が異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、除雪機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合は、完全に補修した後でなければ除雪機を再始動しないでください。
	坂道での除雪や停車はしないでください。		オーガハウジングやシュータなどに詰まった雪を取除く時は、エンジンを停止し、誤ってエンジンがかからないようにしたうえで、回転が完全に止まった後に、雪かき棒を使って取除いてください。
	燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。		滑りにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。
	可動部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。		坂道の走行には注意してください。
	エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。		後方へ走行する時は、足元及び背後の障害物に十分注意し、転倒したり障害物に挟まれないように運転してください。
	急いで操作したり、駆け足で作業したりしないでください。		除雪時は操作に集中し、特にバック時は、滑らないよう足元にご注意ください。
	滑りやすい表面上では、高速で除雪機を運転しないでください。		除雪機を輸送したり、使用しない時、停止する時は、オーガハウジングを接地させてください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



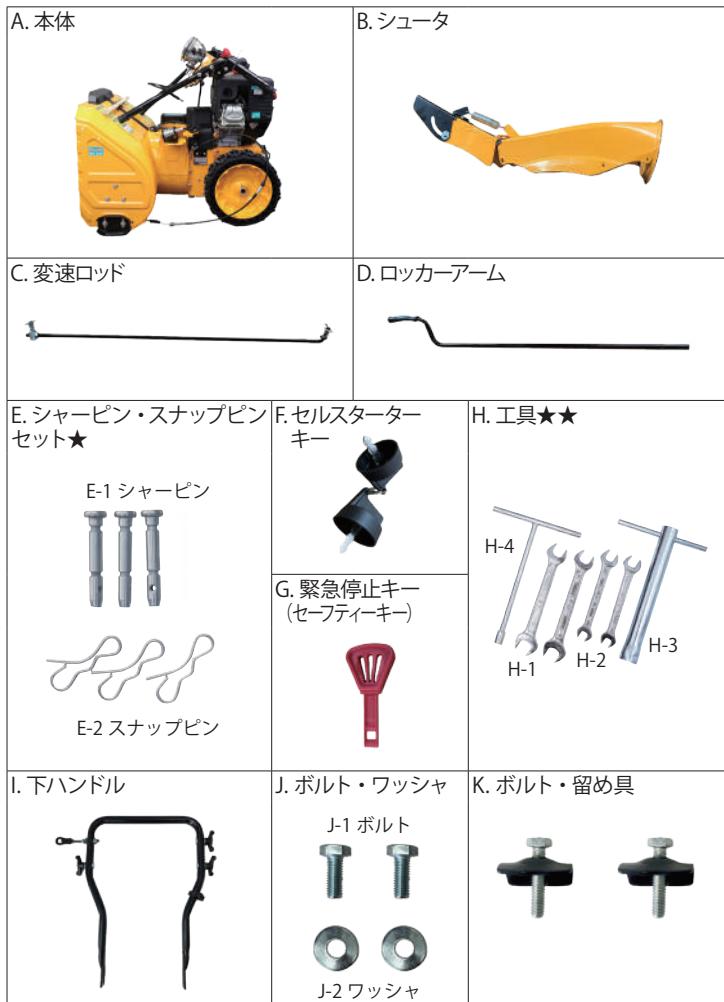
※製品版では雪かき棒が付属しています。

梱包部品一覧

- ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
- 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
- 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

⚠️ 警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。



※製造時期により仕様変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

★サービス品です。予告なく終了する場合があります。

★★付属の工具は、簡易的なものです。

市販のペンチ、プライヤー、スパナ等をご用意いただくと作業効率が良くなります。

主要諸元

モデル名	HG-K6560C-2
除雪幅	610mm
除雪高	510mm
プロワ周速	21m/s
投雪方向	190°
投雪距離	最大 12m
変速機	前進 6 速、後進 2 速

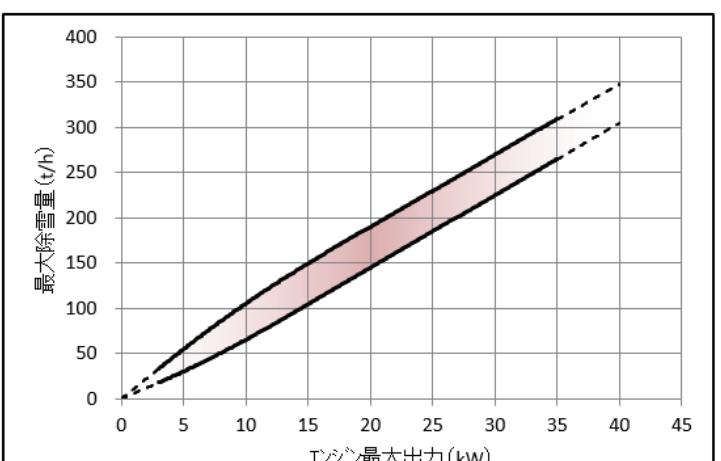
エンジン型式	Loncin LC170FDS 寒冷地仕様
馬力	7HP
総排気量	212cm ³
エンジン出力	4.4kW
始動方法	リコイルスタート/セルスタート
シユータ操作	手動ハンドル(側面)
操作ハンドル	両手(片手自走、片手除雪)
使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃費	1.2 L/h ※エンジン単体無負荷状態
駆動タイヤ	ノーパンクタイヤ 13インチ
燃料タンク容量	3L
エンジンオイル	SAE 5W-30
エンジンオイル容量	0.6L
重量	90.2kg
サイズ (幅×奥行×高さ)	650 × 1350 × 1150mm

◎弊社は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

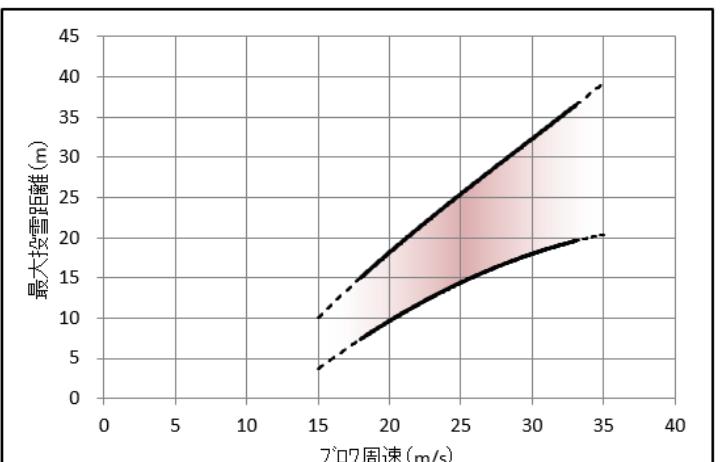
【最大除雪能力】



注1)グラフは目安です。雪質などの使用条件により最大除雪量は異なります。

注2)グラフは除雪機安全協議会会員の2017年モデルのデータを基に作成しています。

【最大投雪距離】



注1)グラフは目安です。雪質などの使用条件により最大投雪距離は異なります。

注2)グラフは除雪機安全協議会会員の2017年モデルのデータを基に作成しています。

組立て

⚠ 警告

- ・エンジンスイッチを「OFF」にし、作業を行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・組立後は、すべての部品が確実に取付いていることを確認してください。

⚠ 注意

作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。

ハンドルの取付け

ハンドルを本体に取付けます。

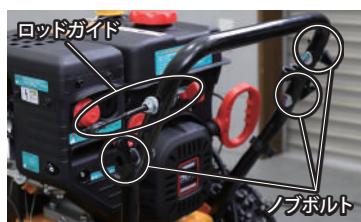
- 1** 下ハンドルと本体の取付穴を合わせます。
この時、ロッドガイドが左側になるよう注意してください。



- 2** 上部にボルト・留め具を通し、下部にボルト・ワッシャを通しておきます。



- 3** 下ハンドルに仮留めしているロッドガイド、ノブボルトを一旦取外します。



- 4** 上ハンドルと下ハンドルの取付穴を合わせます。



- 5** ロッドガイド、ノブボルトを取り付け、13mmスパナで締めます。



走行クラッチワイヤの取付け

走行クラッチワイヤを右ハンドルに取付けます。

- 1** ハンドルに付いている結束バンドを切り、取り除きます。



- 2** 本体下右側から出ているワイヤの先端を、操作パネル下からレバーの下の穴に挿込みます。



- 3** 先端を挿入したら、回転させながら写真のようにワイヤを下向きにします。



※はじめは下の穴にはめ込みます。しばらく使用してワイヤが伸び気味になった場合は、上の穴にはめ替えます。
(写真は上の穴を使用)



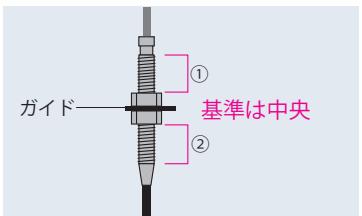
- 4** 走行クラッチレバーを上げた状態にします。



- 5** ワイヤロッドの上部ナットを緩め本体内側ガイドにかませています。



- 6** 基準はネジ部①と②が同じ長さになるように調整します。



- 7** レバーを握り、放した時にレバーが最大まで上がるか確認します。上がらない場合は張りが弱いので、手順5の①の位置を狭くすると張りが強くなります。



除雪クラッチワイヤの取付け

除雪クラッチワイヤを左ハンドルに取付けます。

- 1** 本体下左側から出ているワイヤの先端を、操作パネル左側とハンドルの隙間に、下から通します。



- 2** 先端をレバーの下の穴にはめ込みます。

※はじめは下の穴にはめ込みます。しばらく使用してワイヤが伸び気味になった場合は、上の穴にはめ替えます。
(写真は上の穴を使用)

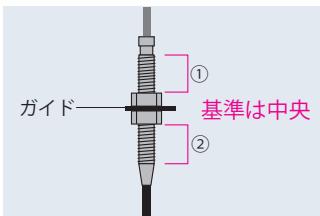


- 3** 除雪クラッチレバーを上げた状態にします。

- 4** ワイヤロッドの上部ナットを緩め本体内側ガイドにかませています。



- 5** 基準はネジ部①と②が同じ長さになるように調整します。



- 6** レバーを握り、放した時にレバーが最大まで上がるか確認します。上がらない場合は張りが弱いので、手順5の①の位置を狭くすると張りが強くなります。

シーダの取付け

シーダを本体に取付けます。

- 1** 本体シーダ取付部の3カ所の押さえ部品を固定しているボルト、ナットを10mmのスパナで一旦取外します。



- 2** シーダを本体シーダ取付部に載せ、歯車がギヤにかみ合うようにセットします。



- 3** 押さえ部品を3カ所取付け、ナットを締付けます。この時、締付けすぎると、シーダがスムーズに動きません。手でシーダを回し確認しながら締付け調整をします。



- 4** 結束バンドを切って取除きます。



シーダフレクタワイヤの取付け

シーダに角度を調整するワイヤを取り付けます。

- 1** シーダフレクタバーを前方にします。



2 シュータ先端(シュータデフレクタ)の突起部に仮留めしているワッシャ、割りピンを一旦取外します。



3 操作パネルのシュータデフレクタレバーより出ているワイヤ先端部を、シュータデフレクタの突起部にはめます。



4 ワッシャ、割りピンで固定します。



5 ワイヤ部をシュータの固定ガイドにはめ込みます。



6 上部ナットを締付けます。



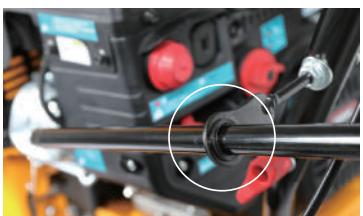
7 シュータデフレクタバーを操作し、シュータデフレクタの角度が変わるか確認します。



ロッカーアームの取付け

ロッカーアームを取付けます。

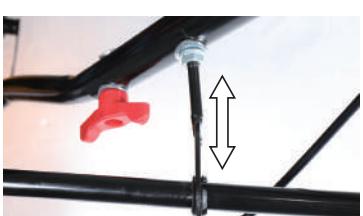
1 ロッカーアームをロッドガイドに挿込みます。



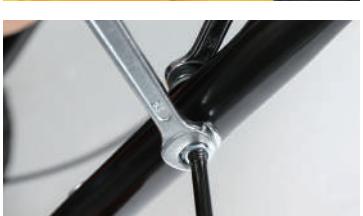
2 ロッカーアームをギヤの軸に挿込み、スナップリングで固定をします。



3 ロッカーアームがギヤとロッドガイドと一直線になるようにロッドガイドの長さ、傾きを調整します。場合によってはギヤの下の固定ナットを緩めギヤも調整します。



4 ロッドガイドの長さ、傾きが調整できたら、手前のナットをスパナで固定しながら奥のナットをスパナで締付け固定します。



5 ロッカーアームを回し、シュータがスムーズに廻るか確認します。





- 6** 水平でない場合は、変速ロッドの先端②を回転させ高さ調整をします。



変速ロッドの取付け

変速ロッドを本体に取付けます。

- 1** 変速レバーを後進と前進の中間の位置にします。



- 2** 変速ロッドの両端に予め留められているスナップピンを抜きます。その際、ワッシャ、スプリングを紛失しないよう注意してください。



- 3** 変速ロッドの先端①は本体側に、②は操作パネル側に取付けます。



- 4** 変速ロッドの先端①を本体側のアームの穴に通し、スプリング、ワッシャをはめ、スナップピンで固定します。



- 5** 変速ロッドの先端②を操作パネル側のアームの穴に通します。その際、下部のアームが水平になることを確認します。



- 6** 再度変速ロッドの先端②を操作パネル側のアームの穴に通し、スプリング、ワッシャを取り付け、スナップピンで固定します。



- 7** ナットをスパナで締付けます。



アクセルボックスの取付け

右ハンドルにアクセルボックスを取付けます。

- 1** アクセルボックスに仮留めしているボルト、ナット、ワッシャを一旦取外します。



- 2** 右側上ハンドルの取付穴にアクセルボックスを取付けます。



- 3** アクセルボックスのボルトを取付穴に挿込みます。



- 4** 裏側からワッシャ、ナットを通し、10mmのスパナで締付けます。



運転前の点検

⚠ 警告



禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・ハイオクガソリンは使用しないでください。



強制

- ・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のない所に保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

エンジンオイルの給油

工場出荷時、エンジンオイルは入っていません。下記要領で給油してください。

測る時は、エンジンを止めた直後では正確な量が測れないため、停止後5分以上時間を空け、必ず水平な場所で測ってください。

⚠ 注意

工場でエンジンテストを行っており、内部に多少オイルが残っている場合があります。

最初に規定量を入れてしまふと多すぎる、あふれるなどとなる場合がありますので、一度に規定量を入れずにオイルゲージを確認しながら少しづつ給油をしてください。

- 1 エンジンオイルを準備します。

推奨オイル	SAE 5W-30
オイル容量	0.6L

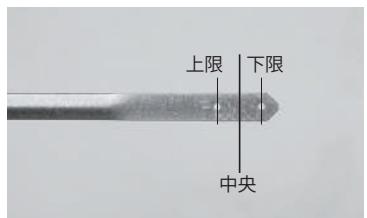
- 2 本体を水平な場所に移動させます。

- 3 オイル給油キャップを取り外し、オイルゲージを布などで拭取ります。



- 4 オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度取外します。

- 5 オイルがオイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



※オイルが少ない場合、少しづつ足しながら必ず上記の手順3からの手順で量を確認してください。

※追加してそのまま測るだけだと正確な量が測れない場合がありますのでご注意ください。

※オイルが多すぎるのは適量までオイルを抜いてください。

- 6 オイル量は、下部オイル給油キャップに付いているオイルゲージでも確認できます。



適正量はゲージの中央です。

- 7 確認後、オイル給油キャップを確実に閉めてください。

- 8 使用2回目以降、運転前に必ずエンジンオイル量や汚れを点検してください。

燃料の給油

工場出荷時、燃料は入っていません。
下記要領で給油してください。

- 1 燃料を準備します。

使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク	3L

- 2 燃料給油キャップを開け、満タンレベルゲージ上限(赤い目印)を超えないように給油します。





3 給油後、給油キャップを確実に閉めてください。

オーガ・プロアの点検

凍結や曲がり・変形・欠け・異物がはさまっていないかを点検します。

また、シャーピンが折れていないかを点検します。



ギヤケースの点検

ギヤケースにはグリスが入っています。20時間毎にグリスを入れてください。(WEB取説の点検・整備の仕方「グリス・潤滑油の塗布」参照)

*グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。



シュータの点検

シュータデフレクターバーとシュータ方向調整ロッカーアームを操作し、不具合がないか点検します。



走行クラッチ・除雪クラッチの点検

エンジン始動後、走行クラッチ(デッドマンクラッチ機構)と除雪クラッチ(デッドマンクラッチ機構)を操作し、「走行」「回転」「停止」するか点検します。



各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。ボルト、ナット等の緩みであれば締付けます。不具合の箇所が分からぬ場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 警告

不具合があったまま使用しないでください。
重大な事故に繋がります。

各部の異音の点検

エンジン始動後、エンジン、その他の部位から異音がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 警告

異常を感じたまま使用しないでください。
重大な事故に繋がります。

排気状態の点検

エンジン始動後、排気に異常がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 警告

異常を感じたまま使用しないでください。
重大な事故に繋がります。

運転操作の仕方

⚠ 警告

- ・燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- ・エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。
- ・触るとやけどをすることがありますので注意してください。
- ・運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触ると巻込まれ重大な事故の恐れがあります。
- ・周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意してください。

エンジンのかけ方（セルの場合）

燃料ポンプ 緊急停止キー（セーフティーキー）



⚠ 注意

エンジンをかける際は、走行クラッチレバーや除雪クラッチレバーを握らないでください。

- 1 変速レバーを「前進1」にします。



- 2 アクセルレバーを「かめ」と「うさぎ」マーク中央にします。
ハンドル右横のアクセルレバーと連動しています。



- 3 燃料コックを横向き「ON」にします。



- 4 チョークレバーをチョークマーク||にします。



- 5 燃料ポンプを2~3回軽く抵抗を感じる程度まで押します。（初回のみ）



⚠ 注意

押しすぎるとエンジンが始動しません。

- 6 緊急停止キー（セーフティーキー）を奥まで挿込みます。



⚠ 注意

緊急停止キー（セーフティーキー）は、奥まで確実に挿入してください。

確実に挿入されていないとエンジンは始動しません。

POINT

緊急停止キー（セーフティーキー）の穴に紐を取付け、除雪作業の邪魔にならない長さでベルト等に結び付けます。万が一の転倒などの際に、緊急停止キー（セーフティーキー）が抜け、エンジンを停止させます。



- 7 セルスターターをセルの音がするまで回すとエンジンが始動します。始動したらキーから手を放すと自動的に「ON」の位置に戻ります。



- 8 エンジン始動後、異常がなければチョークレバーをチョークマーク||に戻します。



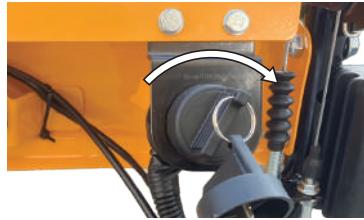
⚠ 注意

エンジン始動後は、チョークレバーを必ずチョークマーク||に戻してください。

エンジンのかけ方（リコイルの場合）

万が一セルによるエンジンがかからない場合は、リコイルスタートーターでかけることができます。
「エンジンのかけ方（セルの場合）」の手順1～6まで同じです。

- 1** セルスターターを画像の位置まで回します。セルが起動するまで回さないでください。



- 2** リコイルスタートーターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真っすぐ引張ります。エンジンがかかるまで、数回繰返します。



⚠ 注意

- ・リコイルスタートーロープを最後まで引出さないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたリコイルスタートーターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。
- ・運転中はリコイルスタートーハンドルに手を触れないでください。また、除雪クラッチレバーを握りながら、引張らないでください。

- 3** エンジン始動後、異常がなければチョークレバーをチョークマーク[II]に戻します。



⚠ 注意

- エンジン始動後は、チョークレバーを必ずチョークマーク[II]に戻してください。

エンジンの止め方

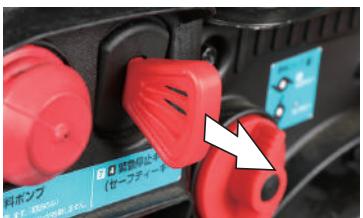
- 1** 走行クラッチレバー、除雪クラッチレバーを放し、変速レバーを「前進1」にします。



- 2** セルスターターを「OFF」の位置まで回します。



- 3** または、緊急停止キー（セーフティーキー）を抜きます。



- 4** 燃料コックを縦向き「OFF」にします。



⚠ 注意

除雪機は、水平な場所に駐車してください。

移動の仕方

- 1** エンジンを始動します。

- 2** 除雪クラッチレバーは握りません。

- 3** ハンドルを押し下げ、オーガハウジングを浮かせた状態にします。

- 4** 変速レバーを「前進1」にします。



- 5** 走行クラッチレバーをゆっくり握ります。除雪クラッチレバーは握らないでください。



- 6** 速度を上げる場合は、一旦走行クラッチレバーを放し、変速レバーを最適な速度の位置にします。

⚠ 注意

- ・変速レバーの操作は、走行クラッチレバーを放してから行ってください。
- ・走行クラッチレバーを握ったまま、変速レバーを操作すると、変速輪クッションの破損の原因になります。

7 再度走行クラッチレバーをゆっくり握り移動します。(走行しない場合は WEB 取説の点検・整備の仕方「走行クラッチ・除雪クラッチの張り調整」参照)

除雪作業の仕方

⚠ 警告

- ・シーダを人や自動車、建物に向けないでください。
- ・オーガに異物が巻付いたときは、エンジンをすぐに停止し、異物を取除いてください。
- ・除雪機に破損がないが確認し、破損が確認された場合は完全に修理してからご使用ください。

1 オーガハウジングの高さ調整をソリで最適な高さに調整します。(WEB 取説の各部の取扱い「ソリ」参照)

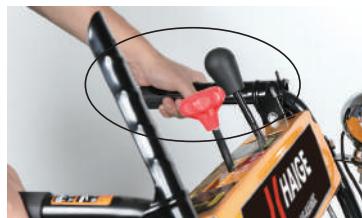
2 ロッカーアームを操作し、投雪方向を調整します。(WEB 取説の各部の取扱い「ロッカーアーム」参照)

3 シュータデフレクターレバーを操作し、投雪距離を調整します。(WEB 取説の各部の取扱い「変速レバー」参照)

4 エンジンを始動します。

5 アクセルレバーでエンジンの回転数を上げます。(WEB 取説の各部の取扱い「アクセルレバー」参照)

6 除雪クラッチレバーをゆっくり握るとオーガが回転します。
(オーガが回転しない場合は WEB 取説の点検・整備の仕方「オーガ・ブロアの点検」参照)



⚠ 警告



除雪クラッチレバー(デッドマンクラッチ機構)を紐やクランプ等で固定することは絶対にお止めください。
重大な事故に繋がります。

7 変速レバーが「前進 1」にあることを確認し、走行クラッチレバーをゆっくり握ります。

※除雪クラッチレバーを握りながら走行クラッチレバーを握るとロックされます。走行クラッチレバーを放すと解除されます。(走行しない場合は WEB 取説の点検・整備の仕方「走行クラッチ・除雪クラッチの張り調整」参照)



8 変速レバーで速度を変える場合は、走行クラッチレバー、除雪クラッチレバーから手を放してから操作します。

前進(6速)、後進(2速)のすべてを切替え、走行するか確認します。走行しない場合は、変速ロッドの調整が必要となります。(WEB 取説の点検・整備の仕方「走行クラッチ・除雪クラッチの張り調整」参照)



9 変速レバーを「前進 1」から雪質や雪の深さに適した速度にします。レバーはゆっくり操作してください。



⚠ 注意

- ・変速レバーの操作は、走行クラッチレバー、除雪クラッチレバーを放してから行ってください。
- ・走行クラッチレバーを握ったまま、変速レバーを操作すると、変速輪クッションの破損の原因になります。

POINT

除雪作業は低速側で行うのがコツです。
走行速度が速すぎると、オーガハウジングに雪がいっぱいになり、投雪が間に合わず雪が詰まってしまいます。

⚠ 注意

- ・除雪機は、水平な場所に駐車してください。
- ・作業終了後、除雪機に破損がないか確認し、破損が確認された場合は完全に修理してください。

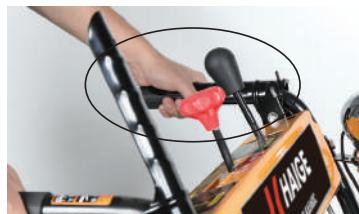
1 走行クラッチレバー、除雪クラッチレバーから手を放します。走行とオーガの回転が停止します。



2 変速レバーを「前進 1」にします。



3 除雪クラッチレバーを握り、オーガを空転させ、オーガに付着した雪を取り除きます。



4 除雪クラッチレバーから手を放し、オーガの回転を停止させます。



5 セルスタートーを「OFF」の位置まで回します。



6 燃料コックを縦向き「OFF」にします。



⚠ 注意

- ・本体に付着した雪は取除いてください。
- ・除雪作業終了後は、雨ざらしにしないでください。
- ・プロア部分に雪が付着したまま保管しますと、凍結してベルトの伸びや破損に繋がります。
- ・ワイヤ部分に雪が付着したまま保管するとワイヤの伸びや破損に繋がります。
- ・屋外に保管しないでください。
- ・凍結、劣化により故障や本機の寿命を短くする恐れがあります。

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- 保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- 本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- 本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）
- (11) 機能上影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スponジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリ、点火プラグ等）
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺い、手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- 動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- 部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- 仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- 仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- 無在庫転売者（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて ■ 1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
3. 保証期間（1年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。



〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガー オフィシャル | 検索